Onkyo Digital Solutions

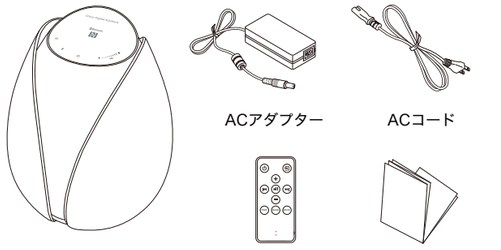
ワイヤレス・アクティブ・スピーカー
WS-TP

ユーザーズガイド（取扱説明書）

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品を正しくお使いいただくために、必ず本書をお読みになり、大切に保管してください。

Bluetooth®

セット内容　ー はじめにご確認下さい ー



保証規定　保証書はこの裏面にございます。

●販売店欄に記入のない場合は無効になりますので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入のない場合は、直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
●この保証書は、保証期間内（ご購入日より1年間）においてのみ、保証対象内容に対して本製品の無償修理をお約束するものです。
●保証期間中に故障が発生した場合、本書と製品をご用意の上、お買い上げの販売店にご相談いただくか、下記お客様窓口に電話にてお問い合わせください。ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理依頼ができない場合には、下記お客様窓口へ電話にてご相談ください。

【1】保証期間中に、取扱説明書・本体貼付ラベルなどに従った使用状況で故障した場合は保証書の記載内容に基づき、無償にて修理対応させていただきます。
【2】製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について、当社はその責任を負わないものといたします。
【3】お預かりした製品について「お客様ご申告の症状が再現しない」、または「お客様のご要望により修理をおこなわず、返却する」場合の返却にまつわる費用は、保証期間内であってもお客様負担となりますのであらかじめご了承願います。
【4】次のような場合には保証期間中でも有償対応となります。
①保証書のご提示がない場合
②保証書にお買い上げ年月日、保証期間、型番、製造番号、および販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合
③お客様による輸送、移動時の落下、衝撃、圧力、温度・湿度など、お客様の取扱いが適正でないために生じた故障、損傷の場合
④お客様による使用上の誤り、分解あるいは不当な改造、修理による故障および損傷
⑤火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧、冠水の外部要因に起因する故障および損傷
⑥製品に接続している当社指定以外の機器、および消耗品に起因する故障および損傷
⑦一般家庭以外（たとえば業務用）に使用された場合の故障、損傷
【5】出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
【6】当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
【7】修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
【8】保証書は日本国内においてのみ有効です。
This Warranty is valid only in Japan.
【9】保証書は再発行致しません。大切に保管してください。
【10】保証期間内にご連絡いただけない場合は、有償対応とさせていただきます。

安全上のご注意

あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ずお読みください。なお、絵表示は次の意味を表しています。

⚠警告	⚠注意
誤った使いかたをすると、火災・感電などで死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。	誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

⚠ 注意	△記号は「ご注意ください」という内容を表しています。
分解禁止	⃠記号は「〜してはいけない」という禁止の内容を表しています。（左の図は「分解禁止」を表しています。）
❗	●記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

⚠警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く
・煙が出ている、変なにおいや音がする
・本機を落としてしまった
・本機内部に水や金属が入ってしまった
このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止
火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止
火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、ACアダプターに触れない

接触禁止
感電の原因となります。

接続、設置に関して

■押入れや本棚など通気性の悪い狭い場所に設置しない

禁止
・本機の天面、周囲から各5cm以上のスペースをあける

■とがった物の上や底面より狭い場所に置かない

禁止
底面に低音用スピーカー（ウーファー）があります。とがった物の上や底面より狭い場所に置きますと、破損や故障の原因となるだけでなく、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

また、持ち運ぶ場合は底面のウーファーに直接指を掛けないでください。

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場使用禁止
水濡れ禁止
本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
・風呂場など湿度の高い場所では使用しない
・調理台や加湿器のそばには置かない
・雨や雪などがかかるところでは使用しない
・本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

ACアダプターに関して

■ACアダプターを傷つけない

禁止
・ACアダプターの上に重い物をのせたり、ACアダプターが機器などの下敷きにならないようにする
・傷つけたり、加工したりしない
・無理にねじったり、引っ張ったりしない
・熱器具などに近づけない、過熱しない
ACアダプターが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ACアダプターに布や布団をかぶせない

禁止
熱がこもり火災の原因となります。

■ACアダプターは定期的に掃除する

必ずする
ACアダプターにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。
ACアダプターを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

リモコンの電池に関するご注意

■ボタン電池を、小さなお子様の手が届く場所に置かない

放置禁止
小さなお子様が誤って飲み込むと大変危険です。お子様の手の届かないところへ保管してください。万一飲み込んだ可能性がある場合、大至急医師に相談してください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止
ぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下して、けがや故障の原因となることがあります。

■配線コードに気を付ける

注意
配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

使用上のご注意

■音量を上げすぎない

注意
始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を痛める原因となります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■本体の上に座らない

禁止
故障の原因となります。

■キャッシュカード、定期券、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止
磁気の影響でキャッシュカードや定期券、フロッピーディスクが使えなくなることがあったり、データが消失することがあります。

AC アダプターに関するご注意

■表示された電源電圧(100V〜240V)使用する

必ずする
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■ACアダプター、AC コードのコードを束ねた状態で使用しない

注意
発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らない

禁止
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグ部分を持って抜いてください。

■長期間使用しないときはACアダプターをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止
差し込みが不完全のまま使用すると、感電・発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

濡れ手禁止
感電の原因となることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く
お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本製品のお手入れ

外装の汚れは、清潔でやわらかい乾いた布でから拭きしてください。シンナー、ベンジンなど揮発性有機溶剤を含むものやアルコールは使用しないでください。ネット部はやわらかい素材を使用していますので、先がとがったものでつついたり、ひっかいたりしないようご注意ください。ネット部をお手入れされる際は、やわらかいはたきなどを使用して、ホコリを落としてください。

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

Bluetooth機器について

本機の認証について
本機は電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備認証を受けています。

本機の対応バージョンとプロファイル
本機のバージョンはBluetooth Ver.3.0+EDR、プロファイルは A2DP、AVRCPです。Bluetooth 機能を使うには相手側 Bluetooth 機器が本機に対応している必要があります。なお、本機は SCMS-T方式のコンテンツ保護機能に対応しています。

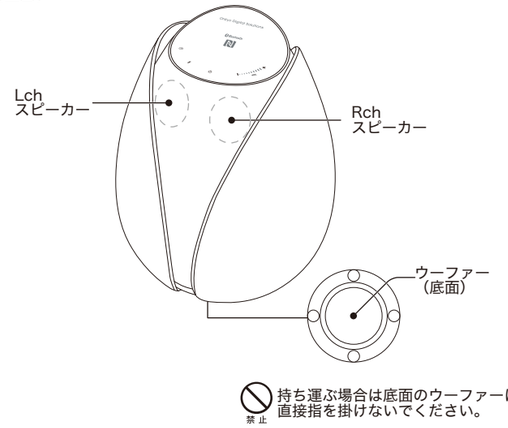
本機の電波到達範囲
本機の出力はBluetooth標準規格出力 Class 2 です。電波到達範囲は、障害物が無い見通し距離で約10m です。相手側機器との間に、金属、壁などの障害物や人体がある場合、電波到達距離が短くなることがあります。

Bluetooth ご使用上の注意
本機の使用周波数は 2.4GHz 帯ですが、電子レンジ等の産業・科学・医療機器や他の無線機器も同じ周波数を使っています。
〈他機器への影響〉
本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認するとともに、万が一電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか本機の使用を停止してください。
〈他機器からの影響〉
Bluetooth 機器と同一周波数帯の IEEE802.11 b/g 無線 LAN は、雑音や音の途切れ、接続不能の一因になります。干渉する場合は無線 LAN の電源を切るか離してください。

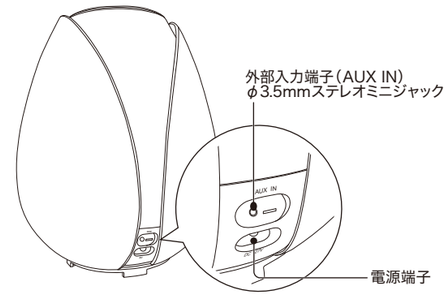
その他
本機はすべての Bluetooth 機器との接続を保証するものではありません。

各部の名称

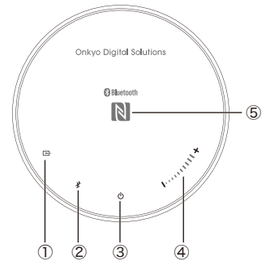
［正面］



［入力端子（背面）］

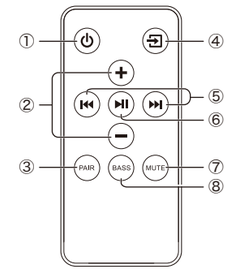


［タッチ操作パネル（天面）］



① 外部入力スイッチ
② Bluetoothペアリングスイッチ
③ 電源スイッチ
④ ボリューム
⑤ NFCペアリング位置マーク

［ワイヤレスリモコン］

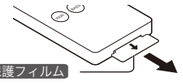


① 電源ボタン
② ボリューム +/− ボタン
③（Bluetooth）ペアリング切換ボタン
④ 入力切換ボタン
⑤ 曲戻し/曲送りボタン（Bluetooth機器用）
⑥ 再生/一時停止ボタン（Bluetooth機器用）
⑦ ミューティングボタン
⑧ BASS（重低音）ボタン

ご使用の準備

■ワイヤレスリモコンの準備

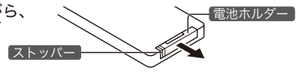
・はじめてご使用になるときは、電池保護フィルムを抜き取ってください。



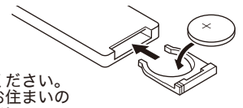
・本機がワイヤレスリモコンに反応しなくなったり、動作が不安定になったら、ワイヤレスリモコンの電池を交換してください。

【電池交換】 リモコン電池 ｜ リチウムボタン電池　CR2025

・ストッパーを横に押しながら、電池ホルダーを引き出してください。



・電池の向き（＋が上向き）に注意して、電池ホルダーに新しい電池を入れ、電池ホルダーをカチッと音がするまで押し込んでください。

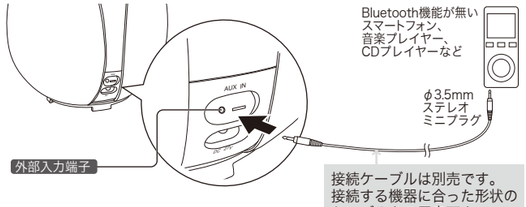


交換の際は新しい電池をご使用ください。
使い終わった電池を捨てる際はお住まいの市町村の指示にしたがってください。

・本機のワイヤレスリモコン受光部は本体正面にあります。
ワイヤレスリモコンは受光部から上下左右それぞれ約30°の範囲でご使用ください。
・リモコン信号の到達距離は約5mです。

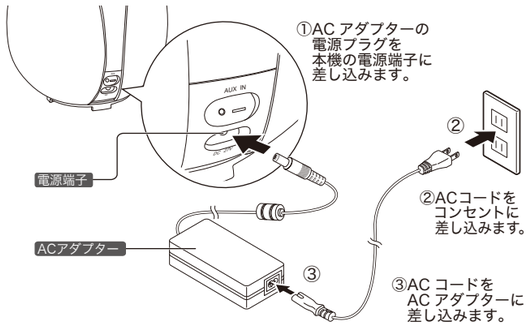
■外部入力端子への接続

背面の外部入力端子（AUX IN、φ3.5mmミニジャック）に有線接続したい機器を接続します。



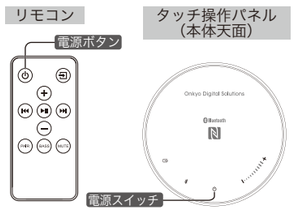
必ずする 外部入力端子へ機器を接続したり、取り外す場合は、あらかじめ必ず電源スイッチをOFFにしてください。

■電源の準備



■電源のON/OFF方法

リモコンの電源ボタン⏻を押す、または本体の電源スイッチ⏻にタッチして電源をONにします。ONの状態では電源スイッチ⏻が消灯します。



ご使用が終わりましたら、もう一度電源ボタンまたは電源スイッチを押して電源をOFFにしてください。OFFの状態では、電源スイッチ⏻が赤色に点灯します。

■音量の調整方法

ボリュームの調整

リモコン

⊕⊖を押して調整してください。

タッチ操作パネル（本体天面）

＋－をタッチして調整してください。

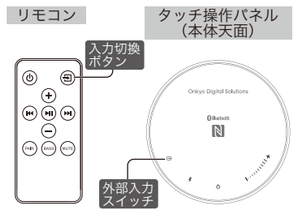
重低音のON/OFF

好みにより、リモコンのBASSボタンをON/OFFしてください。

操作ガイド

① 外部入力端子につないだ機器を再生する場合

1. 電源をONにして、リモコンの入力切換ボタン⏻を押す、または本体の⮆外部入力スイッチにタッチしてください。



リモコンの入力切換ボタン⏻は、押すたびに外部入力→Bluetooth機器→外部入力に切り換わります。

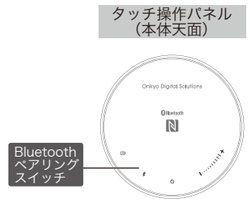
2. 外部入力スイッチ⮆が白色に点灯します。外部入力端子につないだ機器を操作して音楽再生を行ってください。
3. お好みにより音量を調整してお楽しみください。

② Bluetooth機器を再生する場合

■Bluetoothのペアリング手順
無線接続しようとする機器を本機に登録（ペアリング）します。

【機器を登録して接続する】

1. 本機にペアリングする、Bluetooth機器（スマートフォンなど）を数m以内の距離に置き、それぞれの電源を入れます。
Bluetooth機器のBluetooth機能を「ON」にしてください。
2. 本体のBluetoothペアリングスイッチ✱が点滅します。



✱が点滅していない場合や、外部入力スイッチが点灯している場合は、✱を押して点滅させてください。

3. Bluetooth機器側で機器登録を行います。
◆Bluetooth機器の取扱説明書を参照して操作してください。
⇒Bluetooth機器に、ペアリングする機器を選択する画面が表示されたら「WS-TP」を選んで接続してください。
⇒パスキー（パスワード、PINコードなどとも呼ばれます）を要求されたら「0000」を入力してください。
ペアリングが完了すると、Bluetoothペアリングスイッチ✱が白色に点灯します。
4. Bluetooth機器を操作して音楽再生をおこなってください。
リモコンの再生/一時停止ボタン⏯、曲戻し/曲送りボタン⏮⏭で、Bluetooth機器をワイヤレス操作することもできます。
5. お好みにより音量を調整してお楽しみください。

■Bluetoothのペアリング切り換え（解除）方法
あらかじめ本機にペアリング済みの、別のBluetooth機器に接続を切り換える場合や、他のBluetooth機器を新たにペアリングする場合は、リモコンのペアリング切換ボタン⏻を押してください。
（本体のBluetoothペアリングスイッチ✱が早く点滅し、接続が解除されます。）

⇒あらかじめ本機にペアリング済みの、別のBluetooth機器に切り換える場合
✱が早く点滅中に、接続したいBluetooth機器の画面表示をご参照のうえ再接続してください。

⇒他のBluetooth機器を新たにペアリングする場合
✱が早く点滅中、新たにペアリング手順を行ってください。

【NFC機能で、スマートフォンとワンタッチペアリングをする】

NFC機能を内蔵したスマートフォンは、本機にかざすだけでBluetoothのペアリングが可能です。

1. NFC機能内蔵スマートフォンにNFC読み取りアプリがインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、あらかじめアプリをインストールしておいてください。
また、NFC機能は「ON」にしておいてください。
2. スマートフォンと本機の電源を入れます。
3. スマートフォンのNFC読み取りアプリを起動します。
4. スマートフォンを本機のタッチ操作パネル中央のN マークにかざします。（または軽くタッチします。）

Bluetoothペアリングスイッチ✱が白色に点灯したらペアリングは完了です。
（スマートフォンによって3.の手順が不要の場合があります。）

NFCとは
スマートフォンやICタグなど、さまざまな機器との間で近距離無線通信を行うための機能です。NFCマークなどにかざす（またはタッチする）だけで、データ通信を行うことができます。

注 意

- 2分以内にペアリングが完了しない場合は、再度ペアリング手順を行ってください。
- ペアリング情報は記憶されますので、リセットなどでペアリング情報を消さない限り、1台のBluetooth機器につき必要なペアリングは1回だけです。
- 本機は4台までのペアリング情報を記憶できます。5台目の機器をペアリングすると、最も古くBluetooth接続した機器のペアリング情報が削除されます。

困ったときには

本機が動作しない
- 一度コンセントからACコードを抜き、10秒以上待ってからACコードをコンセントに差しなおしてください。
本機の電源スイッチを押して電源ONにしてください。

電源が入らない
- AC アダプター、AC コードの接続を確認してください。

音が出ない、または小さい
- 入力が合っていません。リモコンボタンまたは本体のスイッチで入力を正しく切り換えてください。
- 外部機器の音量をもっと上げてください。

Bluetoothのペアリングができない
- Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください。
- 本機とBluetooth機器の電源を一度切り、再び電源を入れなおしてペアリング手順を試してください。
- ペアリングしたい Bluetooth 機器以外の Bluetooth 機器の電源を切ってください。
- Bluetooth機器側の「WS-TP」の登録を一度削除した後、再度ペアリング手順を行ってください。

Bluetooth接続ができない
- Bluetooth機器の電源が入っているか、Bluetooth機能がオンになっているか確認してください。
- Bluetooth機器との距離が離れすぎていませんか。あるいは、壁などでさえぎられていませんか。

Bluetoothの音が途切れる
- 無線LAN や他の Bluetooth 機器、電子レンジなどが近くにありませんか。なるべくそれらの機器の電源を切るか離してご使用ください。
- Bluetooth 機器と本機の距離を近づけてご使用ください。
また、Bluetooth 機器や本機の位置を変えてください。

Bluetoothの音が映像より遅れる
- Bluetooth 伝送の特性上、多少の信号遅延があります。そのため、Bluetooth 機器の映像に対し音声の遅れが気になる場合がありますが故障ではありません。

主な仕様

形式		アンプ内蔵2.1chスピーカーシステム
無線受信機能	通信方式	Bluetooth Ver.3.0＋EDR
	使用周波数帯域	2.4GHz帯（2.400GHz - 2.4835GHz）
	出力	Bluetooth標準規格出力 Class2
	最大通信距離	約10m（見通し距離）*
	対応プロファイル	A2DP、AVRCP
	対応コーデック	SBC
	コンテンツ保護対応	SCMS-T 方式
使用スピーカー		Lch／Rch　：4cm コーン型 サブウーファー　：10cm コーン型
実用最大出力		Lch/Rch 各25W(3Ω×2)+サブウーファー50W(6Ω)
再生周波数範囲		100Hz ～ 20KHz（±3dB）
クロスオーバー周波数		180Hz
外部入力端子		アナログ×1（φ3.5mmステレオミニジャック）
外部出力端子		なし
ACアダプター電源		入力 AC100～240V(50/60Hz)：出力 DC27V 2.5A
音質調整機能		BASS（ON：100Hz、+6dB）
外形寸法		W258×H331×D256（mm）
質量		4.3kg
動作環境		周囲温度5～35℃／周囲湿度20～80%(ただし結露しないこと)
付属品		AC アダプター、AC コード、ワイヤレスリモコン、取扱説明書(保証書付)

＊使用状況により電波の到達距離が短くなることがあります。

・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。本製品ならびに本書を運用した結果について、当社はその責任を負わないものとします。
・本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後６年です。
・Apple、iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
・Bluetoothは米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、オンキヨーデジタルソリューションズはライセンスに基づき使用しています。
・Nマークは NFC Forum, Inc. の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
・本書に記載のすべての商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。
・本書のすべての内容は、著作権法によって保護されています。
オンキヨーデジタルソリューションズ株式会社の許可なしに、本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することを禁じます。
© Copyright 2013 Onkyo Digital Solutions Corporation, All rights reserved.

2013年7月発行

保証書

裏面の保証規定をよくお読みください。

保証期間：ご購入日より１年間　持込修理品

お名前	フリガナ	
ご住所	〒 電話番号（　　）　　-	
型番	WS-TP	製造番号、色記号　本体に記載
ご購入日	年　月　日	
販売店様	店名・住所・電話番号・店名印（レシート貼付など） 印	

※お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動、およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。